

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

～目 次～

◆ 重点項目の実績	P1
◆ 法人運営事業【総務係】	P5
◆ 地域福祉事業【地域福祉係】	P11
◆ 地域福祉事業【生活支援係】	P25
◆ 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】	P30
◆ 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】	P36
◆ その他	P43
◆ 事務機構図	P44

令和元年度 事業報告書

令和元年度の亀山市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域共生社会の実現に向け、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉活動計画及び年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

＜重点項目の実績＞

1 組織基盤の強化

〔実績評価及び今後の課題〕

法人の使命・経営理念・組織運営方針を制定し、全職員に周知するとともに、社協ホームページ及び各事業場内に掲示するなど意識の向上に努めました。今後も様々な機会を捉え、引き続き職員等の意識を高めていく必要があります。また、職員研修計画が未策定であったため、介護労働安定センターの相談事業を活用し、策定に向けて検討を開始しました。令和2年度の策定に向けて、職員の階層別、職種別の研修体系を明確化し、職員の資質向上に努めていきます。

財政面においては、令和元年度の収支状況は昨年度に引き続きプラス収支差額となりました。三役会等で定期的に福祉サービス事業についての経営状況の分析を行っており、事業等の見直しを図ってきたことで近年の収支は安定してきています。今後も事業ごとの分析、課題改善に向けての検討を行い、安定的な財務運営に努めます。また財政面も含めた中長期計画の策定も検討していきます。

その他、亀山市社会福祉法人連絡会（仮称）の設立に向け、市内に事業所がある全法人を訪問し、賛同を得て準備会を開催しました。令和2年度中の設立に向けて、準備会において取組内容等の協議を重ねていきます。

2 地域福祉力強化推進事業の充実

〔実績評価及び今後の課題〕

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が個別支援・地域支援・しくみ作りについて取り組みました。個別支援では、多様化・複合化した福祉課題にも積極的に介入し、課題解決に向けて支援を行いました。さらに地域支援、しくみ作りにおいては、「ちょこボラ」養成講座を開催し、地域での助け合い・支え合い活動が活発化されるよう努めるとともに、井田川北地区の「井田川北ささえ愛たい」の立ち上げ支援や昼生地区の「フレンドサービス」への会議での情報提供などを行いました。また、亀山市と共催で地域福祉シンポジウムを開催しました。地域の方々等多数の参加者のもと、CSWの実績報告を行うとともに、これからの地域福祉活動の在り方を考える機会となりました。

CSWに対する新規相談件数は減少したものの、延べ相談件数は大幅に増加しました。全地区のまちづくり協議会の福祉委員会での説明や社協だより、ケーブルテレビなどの広報活動を積極的に行ったことで、民生委員・児童委員、福祉委員、自治会等から相談が入るようになってきています。また「ちょこボラ」についても、井田川北地区の「ささえ愛たい」が立ち上がるなど他地区においても関心は高まってきており、今後も生活支援コーディネーターと協働して継続的なフ

フォローアップに努めるとともに、他地区にも広げていけるよう働きかけを行っていきます。

令和 2 年度からは、亀山市が配置する相談支援包括化推進員とともに分野を超えた多機関協働による包括的支援体制の構築に向け中心的な役割を担うことになります。これまで以上に関係機関との連携を強化し、情報共有を図りながら、個別支援、地域支援に対して丁寧に対応していきます。

3 地域包括ケアシステムの実現に向けた機能強化

〔実績評価及び今後の課題〕

本年度から本会に第 1 層の生活支援コーディネーターを配置し、CSW と連携して「ちょこボラ」の立ち上げ支援や地域のサロン、活動団体等との関わりを強化しました。個別支援については、第 2 層の生活支援コーディネーターでもある在宅介護支援センター職員、市担当課、CSW、生活困窮者担当職員等との地域ケア会議を通じて情報共有を図り、複合的な課題に対しては、関係機関が連携して支援を行いました。しかし、地域支援等に関しては、第 1 層と第 2 層の役割が明確になっていないことが課題となっていることから、令和 2 年度は行政、地域包括支援センター及び在宅介護支援センター等関係機関の役割の明確化を行い、地域包括ケアシステムの実現に向けた機能強化を図っていきます。

また、本年度から認知症初期集中支援チームに専任の介護福祉士を配置し、サポート医と連携しながら認知症支援に取り組みました。サポート医と連携することで徐々に地域の医療機関等にも認識されてきており、前年度と比較して、相談件数及び支援対象者が大幅に増加しました。今後も市と協議を重ね、さらに質の高い相談支援を目指し、関係機関との連携を図りながら利用者及び家族等の支援を行っていきます。

4 ボランティア活動の推進

〔実績評価及び今後の課題〕

ボランティア活動を支援するため、ボランティアセンターとして団体及び個人登録者に対し、団体助成、ボランティア活動保険の助成等を行うとともに、ニーズに応じたボランティアコーディネートを行いました。ボランティアセンター登録者数やボランティアコーディネート数は前年度とほぼ同数でした。今後もニーズに応じたボランティアの養成を行いながら、ちょこボラ等地域の担い手の養成に取り組むとともに、引き続きボランティアセンター登録団体の周知・PR を積極的に行っていきます。

また、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、昨年度に引き続き設置・訓練を実施しました。社協職員をはじめ、災害ボランティア登録者、青年会議所、市職員など各関係機関に参加していただきました。昨年度の机上訓練（研修会）からステップアップした形で実際に想定した訓練内容にしたことで、緊張感を持った訓練をすることができました。今後も継続して訓練を実施するとともに、設置時に必要な資機材の整備も進めていきます。

5 サロン活動の推進

〔実績評価及び今後の課題〕

高齢者対象のふれあい・いきいきサロンは、新規で10か所立ち上がり計99か所、子育て中の親子対象の子育てサロンは、新規で2か所立ち上がり計10か所、地域住民誰もが参加できるコミュニティサロンは、新規で1か所立ち上がり計14か所となり、昨年度と比較して10か所増の合計123か所でサロン活動が行われました。各サロンに助成を行うとともに、担当者が訪問し、地域の状況や福祉課題の把握に努め、活動の情報発信を行いました。

地域福祉計画で定めているサロンの設置数の目標値は達成していますが、課題としてサロン活動が無い地域も見受けられるため、すべての地域へ集いの場を創出できるよう働きかけを行っていきます。

6 福祉教育推進事業の充実

〔実績評価及び今後の課題〕

市内の学校（園）に様々な福祉体験学習やボランティア活動、地域のサロンとの交流を通して、福祉に関する関心を高めることを目的に福祉教育推進事業を実施しました。令和元年度から2年間、亀山愛児園、川崎小学校、亀山高等学校の3校（園）をモデル校に指定し、社協と協働で年間のプログラムを作成し、福祉教育の更なる充実と次世代の担い手の育成に取り組みしました。モデル校の指定を進めてきたことにより、学校、園との関係が深まり、モデル校以外からの福祉教育授業の依頼を受けるなど活動の広がりをみせています。今後も積極的に学校・園と連携していくとともに市内福祉施設等の協力のもと毎年開催している中学生福祉体験教室や中学生・高校生を対象にした街頭募金活動も継続して行い、福祉教育の推進に努めていきます。

7 成年後見制度の活用促進

〔実績評価及び今後の課題〕

相談窓口として地域包括支援センターに相談員を置き、判断能力の不十分な高齢者、障がい者の方やご家族、支援者からの相談を受け、支援を行いました。

新規相談件数、延べ対応件数ともに昨年度から増加しました。相談件数も徐々に増加しており、本年度は、医療、福祉、介護等の専門職による多職種連携会議で成年後見制度について説明を行ったことで制度への理解、相談窓口の啓発に繋がりました。しかし、まだまだ制度が周知されていないことから、今後も市民及び関係機関等に対し、制度の普及啓発に努めるとともに中核機関の受託に向け、市と連携し先進地視察や職員研修、法人後見の検討を行っていきます。

8 障害福祉サービスの充実

〔実績評価及び今後の課題〕

生活介護事業（つくしの家・なかまの部屋）について、本年度から新たに利用者等からのニーズが高かった日中一時支援事業に取り組み、利用者の延長的利用や特別支援学校の生徒の長期休暇においての利用を受け入れました。また、つくしの家となかまの部屋との交流に力を入れており、合同行事のほか合同作業を取り入れました。交流することでお互いの共通点や相違点を考える良い機会となっています。

余暇活動の充実を図るため、新しいレクリエーションとして、「スノーズレン」を取り入れ、専用の場所を整備しました。精神的に不安定だった利用者が落ち着くなど効果があったことから、引き続き実施していきます。さらに令和2年度からは「ボッチャ」というユニバーサル競技を取り入れ、重度の障がいのある方でもスポーツに取り組める環境を整備していきます。

収支状況としては、つくしの家、なかまの部屋ともにプラス収支差額となりました。特定・障害児相談支援事業においても、わずかにマイナス収支差額となったものの年間収入は当初予算額を上回りました。しかし、利用状況をみると、特になかまの部屋では新規利用者が少なく、安定した収支が見込まれるとは言えない状況にあります。今後は関係機関等に積極的にPRを行うなど利用者の確保に向けて取り組んでいきます。

1 法人運営事業【総務係】

1 会務の運営

①理事会（5回）

第1回 令和元年5月7日（火）【書面決議】

議 題

議案第1号 平成31年度共同募金配分金の助成について

第2回 令和元年6月5日（水）【出席者】理事9名、監事1名

議 題

議案第1号 評議員選任候補者の選考及び推薦について

議案第2号 正規職員賃金規程の一部改正について

議案第3号 平成30年度 事業報告及び決算について

議案第4号 第1回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

第3回 令和元年6月27日（木）【出席者】理事12名、監事2名

議 題

議案第1号 会長、副会長及び常務理事の選任について

第4回 令和元年11月26日（火）【出席者】理事9名、監事2名

議 題

議案第1号 第2回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

第5回 令和2年2月20日（木）【出席者】理事10名、監事2名

議 題

議案第1号 第三者委員の選任について

議案第2号 評議員選任候補者の選考及び推薦について

議案第3号 正規職員賃金規程の一部改正について

議案第4号 令和元年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第5号 令和2年度 事業計画及び資金収支予算について

議案第6号 第3回評議員会の招集について

②評議員会（3回）

第1回 令和元年6月27日（木）【出席者】評議員15名、監事1名

議 題

議案第1号 平成30年度 事業報告及び決算について

議案第2号 理事及び監事の選任について

第2回 令和元年12月18日（水）【出席者】評議員13名

議 題

議案第1号 理事の選任について

報告事項 令和元年度中間事業報告（平成31年4月～令和元年9月）について
災害ボランティアセンターの役割及び台風19号の災害に伴う社協職員派遣報告について

第3回 令和2年3月5日（木）【出席者】評議員14名

議 題

議案第1号 令和元年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第2号 令和2年度 事業計画及び資金収支予算について

③評議員選任・解任委員会（2回）

第1回 令和元年6月10日（月）【出席者】選任・解任委員4名

議 題 評議員の選任について

第2回 令和2年2月27日（木）【出席者】選任・解任委員5名

議 題 評議員の選任について

④監事監査（2回）

第1回 令和元年5月24日（木）【出席者】監事2名

議 題 平成30年度 事業報告及び収支決算の監査について

第2回 令和元年11月8日（金）【出席者】監事2名

議 題 令和元年度中間監査について（平成31年4～令和元年9月）

⑤三役会（会長・副会長・常務理事）

第1回 平成31年4月25日（木）

議 題 （1）理事会書面決議提出議案について
（2）平成31年度福祉ボランティア基金助成について
（3）各係の目標について

第2回 令和元年5月29日（水）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

第3回 令和元年7月24日（水）

議 題 （1）亀山市地域福祉推進委員会提出資料について
（2）令和元年度福祉サービス事業利用状況について
（平成31年4月～令和元年6月）

第4回 令和元年9月25日（水）

議 題 （1）災害ボランティアセンターの役割・運営について

第5回 令和元年10月30日（水）

議 題 （1）令和元年度事業報告について（平成31年4月～令和元年9月）

第6回 令和元年11月21日（木）

- 議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について
（2）栃木市災害ボランティアセンター社協職員派遣報告

第7回 令和元年12月26日（木）

- 議 題 （1）令和2年度予算概要について

第8回 令和2年2月12日（水）

- 議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について
（2）令和元年度福祉サービス利用状況について

⑥行政監査

市監査委員による監査

財政援助団体等監査（平成30年度分） 令和元年11月19日（火）

所轄庁による監査

令和元年度社会福祉法人指導監査 令和2年1月30日（木）

⑦第三者委員報告会

利用者等からの苦情に対して社会性や客観性を確保するとともに、利用者等の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置し報告会を行いました。

実施日 令和2年3月23日（月）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 令和元年度苦情受付件数及び対応件数 5件
（うち話し合いへの第三者委員の助言、立ち合い 0件）

2 基盤の強化

①会員制度の啓発及び推進

（単位：名、円）

実施期間	普通会员	特別会員	元年度	30年度	増減額
7月	10,583	3	3,416,820	3,459,100	△42,280

3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

①第 15 回亀山市社会福祉大会

市と共催で、亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

実施日 令和元年 11 月 1 日（金）

場 所 亀山市中央コミュニティセンター

内 容 表彰状・感謝状授与

記念講演：演題 ユニバーサルマナーから伝わる

「ふだんの くらしの しあわせ」

講師 株式会社ミライロ 一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会
原口 淳

参加者 約 150 名

4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

（単位：名、回）

	元年度	30 年度	増減
登録者数	44	45	△1
延べ運行回数	1,795	1,723	72

<元年度内訳>

（単位：円、回）

月	運行費 (年会費含む)	内 容				運行 回数
		リハビリ	診察	透析	その他	
4	65,400	0	74	47	2	123
5	43,800	0	74	61	0	135
6	43,000	0	61	84	0	145
7	49,400	0	69	111	0	180
8	49,200	0	77	94	0	171
9	49,800	0	86	84	1	171
10	44,800	0	71	98	0	169
11	39,800	0	65	77	0	142
12	48,000	0	92	65	2	159
1	34,200	0	59	67	3	129
2	39,000	0	72	54	2	128
3	36,000	0	50	90	3	143
計	542,400	0	850	932	13	1,795

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

（単位：件）

	元年度	30 年度	増減
車椅子	207	206	1
歩行器	1	0	1

6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び社会福祉センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

（単位：円）

	元年度	30 年度	増減
収入金額	52,682	40,078	12,604

7 日本赤十字社との連絡及び協力

①日本赤十字社社資募集

（単位：円）

実施期間	元年度	30 年度	増減額
5 月	4,586,280	4,650,410	△64,130

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

8 亀山市社会福祉法人連絡会（仮称）設立に係る準備会

市内に事業所がある社会福祉法人間の連携、情報交換の場として亀山市社会福祉法人連絡会（仮称）の設立に向け、準備会を開催しました。

実施日 令和2年3月3日（火）

場 所 総合保健福祉センター

議 題 趣旨説明

各法人の公益的な取り組み及び今後取り組んでいきたい取組について
今後の進め方について

参加団体 14 法人（市内全法人）、亀山市（オブザーバー）

9 社会福祉法人への支援

社会福祉法人制度改革の中で、すべての社会福祉法人が評議員会を設置することになりました。このことにより、評議員の確保に向けて他の社会福祉法人に対し、情報提供等の支援を行いました。（第三愛護園）

10 福祉団体の事務及び助成

①団体事務局

- (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- (2) 亀山市老人クラブ連合会
- (3) 亀山保護司会
- (4) 亀山更生保護女性会
- (5) 亀山市遺族会

②団体助成

- | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|
| (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会 | (共同募金配分金) | 193,000 円 |
| (2) 亀山市自治会連合会 | (共同募金配分金) | 250,000 円 |
| (3) 亀山更生保護女性会 | (共同募金配分金) | 90,000 円 |

11 台風 19 号に伴う復興支援活動

令和元年 10 月に発生した台風 19 号に伴う豪雨災害により、社会福祉協議会職員として復興支援活動に取り組みました。

①社会福祉協議会職員のブロック派遣

派遣場所 栃木県栃木市災害ボランティアセンター（栃木市社会福祉協議会）
派遣期間 令和元年 11 月 3 日（日）～9 日（土）（6 泊 7 日）
派遣職員 川原田 純也（地域包括ケア推進係）
内 容 災害ボランティアセンター運営支援

②街頭募金活動

実施期間：令和元年 11 月 5 日（火）～8 日（金）
場 所：マックスバリュ่มizuほ台店、マルヤス亀山店
参 加 者：社協職員、亀山市民生委員児童委員協議会連合会役員
募金金額：103,443 円

2 地域福祉事業【地域福祉係】

1 第2次亀山市地域福祉活動計画の推進

地域住民や福祉関係者、行政等と協働して地域福祉活動のコーディネートを行い、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の実現に向けて取り組みました。

①亀山市地域福祉計画推進委員会

地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗管理、評価及び検証を行いました。

実施日：令和元年7月25日（木）

場 所：総合保健福祉センター

内 容：計画に係る進捗状況について

コミュニティソーシャルワーカーの体制づくりについて

②地域福祉シンポジウムの開催

市と共催で、両計画の主要な取組であるコミュニティソーシャルワーカーの実績報告を踏まえ、今後の地域福祉活動の在り方を考える機会となるようシンポジウムを開催しました。

実施日：令和元年5月25日（土）

場 所：社会福祉センター

内 容：第1部 基調講演

演 題：ともに支え合い、ともに暮らせる ふくしのまちをめざして

講 師：亀山市地域福祉推進委員会 委員長 蒔田 勝義

第2部 トークセッション

パネリスト：昼生地区まちづくり協議会

会長 田名瀬 寛之

亀山市民生委員児童委員協議会連合会

副会長 小林 智子

亀山市地域福祉推進委員会

委員長 蒔田 勝義

亀山市

市長 櫻井 義之

亀山市社会福祉協議会

会長 榎谷 英一

亀山市社会福祉協議会地域福祉係

係長 鋤田 聡

コーディネーター

皇學館大学教育開発センター

准教授 板井 正斉

参加者：約200名

2 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置 ＜市受託事業＞

既存の法制度では支援することが困難な「制度の狭間」の問題（ゴミ屋敷、引きこもり、孤独死など）、多様化・複合化する福祉課題の解決に取り組むとともに、地域で福祉課題を解決する仕組みを構築し、地域における助け合い・支え合い活動を支援するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を設置しました。（専任 2 名、兼務 2 名の計 4 名）

①相談実績

○相談件数

（単位：件）

	個別支援				地域支援	元年度	30 年度	増減
	高齢	障がい	母子	その他	地域			
新規相談件数	23	10	3	8	11	55	82	△27
延べ相談件数	55	262	130	131	155	733	449	284

○相談経緯（新規）

（単位：件）

	本人	民生委員 福祉委員	地域 住民	家族	福祉 関係機関	行政 機関	その他	元年度	30 年度	増減
相談件数	9	26	6	2	2	8	2	55	82	△27

②地域への周知・関わり・会議への参加

地域での話し合いの場に参加 66 回

福祉委員会への参加 22 回

地域ケア会議 12 回

マイタウン亀山（ZTV にて放映） 1 週間（令和元年 6 月 28 日～7 月 4 日）

3 小地域ネットワーク活動事業

①地区福祉委員会の設置促進及び活動支援

(地区まちづくり協議会助成事業) <社協会費>

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全 22 地区 346 名の方に委嘱しました。また、地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行うとともに、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

・福祉委員の選出 計 346 名 (平成 30 年度 342 名)

<地区まちづくり協議会別福祉委員活動状況>

(単位：名、地区)

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業（主な事業）
1	昼生	7	小学生と一人暮らし高齢者宅訪問、ふれあい歌の広場、健康体操
2	井田川南	30	ふれあいグランドゴルフ大会、ふれあい輪投げ大会、高齢者訪問
3	井田川北	39	高齢者への花プレゼント（訪問活動年 2 回）、敬老会
4	川崎	28	みんな元気で楽しい集い、ふれあいフェスタ（ブース協力）、熟年の集い
5	野登	17	子ども見守り隊ボランティア、三世代交流（グラント`G、しめ縄作り）、配食訪問
6	白川	10	小学生との一人暮らし、二人暮らし訪問活動、高齢者と小学生の交流（子育て支援活動）
7	神辺	15	三世代ふれあい交流（農産物や作品の展示等）、訪問活動、ふれあいキッズカフェ、健康体操
8	野村	31	盆踊り大会、三世代ふれあい事業（餅つき、昔のあそび等）、高齢者訪問
9	城東	5	三世代ふれあい事業（年末餅つき大会）、しろやまサロン、敬老のつどい
10	城西	10	三世代ふれあい交流食卓会、訪問活動、お楽しみ食卓会
11	城北	13	ふれあい交流会、敬老会、一人暮らし高齢者訪問
12	御幸	9	三世代交流会、高齢者訪問、感謝の集い（敬老会）
13	本町	5	春のつどい、交流ふれあい広場、いきいきサロン「地域の茶の間」
14	北東	8	ふれあいもちつき大会、なかよしサロン、一人暮らし高齢者訪問、自遊ひろば
15	東部	30	文化演芸大会（世代間及び地域交流行事）、訪問活動
16	天神・和賀	12	ふれあいミニサロン、三世代交流祭、一人暮らし訪問活動、敬老会
17	南部	9	ふれあい大運動会、敬老会、高齢者訪問活動、ふれあいサロン
18	関宿	33	高齢者見守り訪問活動、人形劇、敬老会、ゴキブリ団子作り
19	関北部	6	高齢者訪問、三世代交流（餅つき大会）、施設見学
20	関南部	11	高齢者ふれあい交流会、高齢者訪問活動、民生委員との情報交換会
21	加太	7	敬老会、高齢者配食サービス、研修会、施設見学
22	坂下	11	ふれあい交流会、全戸訪問活動、配食訪問活動、敬老会
計		346	

②福祉委員研修会

(1) 福祉委員新任研修会

福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上を図るために、ワークショップを用いながら、新任の福祉委員を対象に研修会を2回実施しました。

実施日 令和元年7月5日(金)(全2回)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講義及びワークショップ

テーマ 『福祉委員の役割を地域の身近な「見守り活動」から考えあってみましょう』

講 師 地域福祉係

参加者 86名

(2) 福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を2回実施しました。

実施日 令和2年1月28日(火)(全2回)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演：『認知症サポーター養成講座』

講師：地域包括支援センター

参加者 42名

③安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

地区福祉委員会を中心に地域内の75歳以上ひとり暮らし高齢者を対象に見守り訪問活動を行い、災害用非常食を配布しました。

実施地区 22地区

実施期間 令和元年12月～令和2年2月

(単位：件)

	元年度	30年度	増減
配布数	914	870	44

4 ボランティアセンター事業

①ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50 音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	元年度	30 年度	増減
1	あいあいクラブ	保・幼稚園、高齢者施設での工作づくり活動	21		21
2	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	16	17	△1
3	あゆみの会	福祉施設ボランティア等	10	11	△1
4	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	9	10	△1
5	NPO 法人ぽっかぽかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための各種活動	42	41	1
6	オカリナアンサンブル・ラルゴ	オカリナ演奏で高齢者施設へ慰問	3	3	0
7	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	12	10	2
8	オレンジの会	ボランティア教室やイベント等の調理ボランティア	6	6	0
9	介護アロマ三重サークル亀山	アロマ精油を使って高齢者施設へ慰問	9	9	0
10	かぼちゃの会	高齢者サロン活動ボランティア	15	15	0
11	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	13	16	△3
12	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等	5	6	△1
13	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	17	18	△1
14	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	14	14	0
15	亀山自助具の会 ピノキオ	高齢者、障がい者、福祉施設のボランティア	10	11	△1
16	亀山社中	地域福祉イベントの企画・運営	3		3
17	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	13	12	1
18	かめやま防災ネットワーク	防災に関する出前講座の実施	14	14	0
19	亀山ボードゲーム会ひとつ	ボードゲームを通じた地域交流、イベントの実施	3		3
20	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	11	13	△2
21	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	14	16	△2
22	亀山ロマンチカ	施設等でのマジック・バルーンアート等	7	7	0
23	カラオケボランティアローズ	高齢者施設でのカラオケボランティア	6	4	2
24	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	21	23	△2
25	義勇者(災害支援グループ)	災害支援活動全般	3	3	0
26	車椅子レクダンス協会亀山支部	車椅子レクダンスの練習、福祉施設訪問	10	10	0
27	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	15	3	12
28	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	10	10	0
29	国鉄・JR親睦会	福祉活動、奉仕活動全般	11	11	0
30	心のバリアタウン推進の会	バリアフリー専門調査員育成、マップの作成	12	13	△1
31	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	102	90	12
32	こでまり	高齢者・障がい者・福祉施設ボランティア	11	10	1
33	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	17	17	0
34	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	43	74	△31
35	しいのみ会	老人施設の草取り、鈴鹿中央病院内活動等	23	23	0

36	関点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	6	6	0
37	たすけあいクラブ	生活上の困りごとの支援、保健・福祉の勉強会	14	14	0
38	たんぽぽ	福祉施設ボランティア、こどもボランティア教室等	9	9	0
39	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等	6	8	△2
40	椿世ひまわり会	町内イベント等の調理や高齢者宅の草刈り等	16	16	0
41	童謡ボランティア	華旺寿での童謡ボランティア	3	3	0
42	(特非) 亀つ子サポート	生きづらさを持つ青少年に並走型サポート	24	21	3
43	南京玉すだれはり香一座	福祉施設・学校等での南京玉すだれの疲労	5	5	0
44	福祉サポート隊	障がい者の入浴介助、あいあい周辺の環境整備等	9	10	△1
45	ブルメリアフレンズ	福祉施設・病院等での音楽イベントの実施	7		7
46	文化箏 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	31	33	△2
47	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック ボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会を提供する	35	44	△9
48	三重パソコン要約筆記サークル ことのは 亀山支部	要約筆記などに関するボランティア活動や啓発講座の実施	3	3	0
49	みつくすどろっぷす	障がい児(者)と家族の交流の場、勉強会の開催等	4	4	0
50	民謡 川崎瀧進絵会	福祉施設・イベント等での演奏活動	19	19	0
51	リンパ浮腫ケアと運動療法を楽しむ会	リンパについての講演会等の実施	6		6
	清和友の会	福祉施設ボランティア、市内イベント協力		6	△6
	個人ボランティア	災害支援等	7	6	1
合計			755	747	8

②ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティアセンター登録団体及び個人に対し、ボランティア活動保険助成を行うとともに、ボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件 数	72	57	2	1
人 数	1,922	5,622	1,072	50

③ボランティアコーディネート

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネートをを行いました。

(単位：件)

	元年度	30 年度	増減
相談件数	33	34	△1

④ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施予定でした。

実施予定日 令和2年3月6日（金）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑤ボランティア講座

地域での助け合いや支え合いの活動について知ってもらい、日常生活でのちょっとした困りごとに対応できる「ちょこっとボランティア（ちょこボラ）」の育成及び住民相互に支え合うしくみを構築できることを目的に実施しました。

実施日 令和元年11月15日（金）

場 所 総合保健福祉センター

テーマ 「フレンドサービス立上げと現状～助け合いの「継承」を目指して～」

講 師 昼生地区まちづくり協議会・フレンドサービス事務局 田名瀬 寛之

参加者 54名

⑥ボランティア交流会

ボランティア活動者が意見交換、情報交換を行うことによって、活動の現状や課題について情報を共有し、活動の活性化を図る目的に実施予定でした。

実施予定日 令和2年3月6日（金）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑦災害ボランティアセンター

○災害ボランティアセンター設置訓練

亀山市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施しました。

実施日 令和2年1月18日（土）

場 所 総合保健福祉センター

講 師 一般社団法人 ピースボード災害ボランティアセンター 垣貫 紀彦

参加者 34名（災害ボランティア4名、青年会議所3名、市職員9名、社協職員18名）

⑧災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。台風に伴う警報時発令時に職員を配置し災害ボランティアセンター設置に備えました。

⑨福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。

(単位：団体、円)

	元年度	30 年度	増減
団体数	9	7	2
助成金額	473,000	451,000	22,000

⑩あいあい祭り 2019 ～であい ふれあい ささえあい～<福祉ボランティア基金事業>

あいあい祭り実行委員会事務局として、祭りの運営、各種許可申請、会場設営などを担当し、多数のボランティアの協力を得て開催いたしました。

実施日 令和元年 10 月 20 日 (日)

場 所 総合保健福祉センター及び医療センター

内 容 ボランティア体験・活動紹介、ボランティア・福祉教育推進事業紹介、模擬店、ステージ発表 など

○実行委員会事務局の運営

(1) 準備委員会

令和元年 6 月 17 日 (月)

- ・テーマの選定、実行委員長及び副委員長の選任について

(2) 実行委員会

第 1 回 令和元年 7 月 23 日 (火)

- ・あいあい祭り組織図、全体スケジュール等について

第 2 回 令和元年 10 月 8 日 (火)

- ・実施内容の最終確認、事前準備について

第 3 回 令和元年 11 月 18 日 (月)

- ・あいあい祭り 2019 の振り返りについて

(3) 代表者会議

令和元年 7 月 23 日、8 月 27 日 (全 2 回)

- ・各部会からの報告及び協議事項、予算について

(4) 部会

広報・ステージ部会

令和元年 7 月 23 日、8 月 6 日、8 月 22 日 (全 3 回)

- ・広報スケジュール、チラシの校正等について
- ・司会進行、出演依頼、当日のプログラム等について

会場部会

令和元年 7 月 23 日、8 月 27 日 (全 2 回)

- ・ゴミの回収、会場レイアウト等について

○催し物の実施

あいあい祭り参加団体として、各種団体等の活動紹介パネルの展示等を行い、福祉への関心を高め、思いやりの輪を広げることを目的に実施いたしました。

内 容 ボランティアセンター登録団体パネル展示
福祉教育推進事業、サロン活動パネル展示
共同募金イベント募金

5 福祉教育推進事業

①福祉教育推進助成事業 <共同募金配分金事業>

小中学校及び高等学校における福祉教育について、各学校の総合学習での福祉授業をはじめ、ボランティア紹介などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施しました。また、学校と更なる連携を図るため、モデル校を指定するとともに、保育所、幼稚園、認定こども園に対しても地域交流等をととして福祉の心を育んでいけるよう助成事業を行いました。

- ・助成事業：計 1,900,000 円 (@50,000×14 校、18 園 モデル校@100,000×2 校、1 園)
- ・令和元年度モデル指定校、園：亀山愛児園、川崎小学校、亀山高等学校

(単位：校、園)

保育所	12	第一愛護、第二愛護、みなみ、神辺、昼生、和田、川崎南、加太、第三愛護、川崎愛児、野登ルンビニ、なのはな
幼稚園	5	亀山、亀山東、井田川、みずほ台、みずきが丘道伯
認定こども園	2	アスレ、亀山愛児（モデル校）
小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登、川崎（モデル校）、神辺、昼生、白川、関、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山（モデル校）、徳風

○モデル指定校（園）との関わり

モデル校（園）を指定し、学校（園）と社協が協働で年間を通じてのプログラムを作成し、下記の内容の事業を行いました。

学校（園）名	内 容
亀山愛児園	高齢者施設との交流会 亀山老健の利用者が亀山愛児園に来園し、歌や手作りプレゼントを渡し交流を行った。
川崎小学校	地域の高齢者施設訪問 事前学習を行い、地域内の高齢者施設を訪問しアロマ精油を使ったハートマッサージ、かんこ踊りの披露などで交流を図り、事後学習も実施した。
亀山高等学校	ふれあい・いきいきサロンとの交流（3回） 清和の里訪問、清掃奉仕活動

○学校からの福祉教育依頼

小学校からの福祉教育依頼を受け、学校と社協が共にプログラムを作成し、ボランティア団体の協力のもと授業を行いました。

実施日	学校名	内 容
9月12日（木）	井田川小学校（4年生）	点字ボランティア体験
11月8日（金）	亀山東小学校（4年生）	高齢者疑似体験
2月17日（月）	亀山西小学校（4年生）	点字ボランティア体験

②夏休み中学生福祉体験教室 ＜市補助事業＞

夏休みの8月19日（月）～23日（金）【5日間】市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に開催いたしました。

（単位：名 ※延べ人数）

施設名	参加者	施設名	参加者	施設名	参加者
安全の里	2	グループホーム亀山	17	アスプラン亀山	5
野村きぼう苑	3	うさぎ亀山	27	はなの家	6
亀山デイサービス	7	グループホーム白鳥	3	花しょうぶ苑関	6
花しょうぶ苑	6	愛の里	12	なかまの部屋	5
つくしの家	6	プレミアム DayRinRin	2	えん	11
宝寿の郷	1	亀寿苑川崎 デイアアップセンター	7	亀寿苑関 デイアアップセンター	15
わだのさと	2	亀寿苑	7		
				合 計	150

③街頭募金活動

福祉教育の推進及び地域の福祉活動を行う財源確保を目的に、市内の中学・高校生らに街頭募金活動を実施しました。

（単位：円）

No	日程	学校名	場所	金額	募金名
1	6月11日（火）	徳風高	スーパー2店舗	20,730	福祉ボランティア基金
2	6月13日（木）	亀山高	スーパー2店舗	17,254	〃
3	10月17日（木）	中部中	スーパー2店舗	19,840	共同募金
4	10月20日（日）	亀山高	あいあい祭り	43,750	災害義援金
5	10月21日（月）	亀山中	スーパー1店舗	8,074	共同募金
6	10月30日（水）	関中	スーパー1店舗	13,679	〃
7	11月11日（月）	亀山高	スーパー2店舗	20,347	〃
8	11月17日（日）	亀山高	食の祭典	65,590	〃
9	12月7日（土）	亀山高	ヒューマンフェスタ	17,509	〃
10	12月9日（月）	亀山高	スーパー2店舗	18,508	〃
11	1月25日（土）	亀山高	亀山大市	15,073	〃

6 サロン活動推進事業

①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・コミュニティサロン助成事業

＜市補助事業・福祉ボランティア基金事業＞

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		元年度 箇所数	30年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	89	71	18	3,107,318	21,542
	新規	10	20	△10	354,000	
	計	99	91	8	3,461,318	
子育て	既存	8	8	0	288,000	2,203
	新規	2	0	2	33,000	
	計	10	8	2	321,000	
コミュニティ	既存	13	7	6	465,000	5,312
	新規	1	7	△6	36,000	
	計	14	14	0	501,000	
合 計		123	113	10	4,283,318	29,057

②ふれあい・いきいきサロン交流会

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換や交流を深めることにより、サロン活動の充実を図ることを目的に開催予定でした。

実施予定日 令和2年3月18日(水)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③子育てサロン交流会

小さな子どもを持つ親たちが地域で安心して子育てができるよう、サロン活動を行う上の悩みや解決方法について意見交換を行うとともに、相互の交流を深めることを目的に開催予定でした。

実施予定日 令和2年3月12日(木)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

④コミュニティサロン交流会

市内の「コミュニティサロン」を実施している団体間において、交流を深めることによりサロン活動の充実を図ることを目的に開催予定でした。

実施予定日 令和2年3月9日(月)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

7 広報啓発事業

①社協だよりの発行（年４回）

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年４回、市内全世帯に配布いたしました。

第 58 号 令和元年 7 月 1 日「特集：亀山市地域福祉シンポジウム」等

第 59 号 令和元年 10 月 1 日「平成 30 年度決算報告・事業報告」等

第 60 号 令和 2 年 1 月 1 日「特集：川崎小学校福祉教育の取り組み」等

第 61 号 令和 2 年 4 月 1 日「ふくし最前線 特集：松永 里子さん」等

②ホームページ・フェイスブックの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集（助成金など）、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

（単位：回）

更新回数	元年度	30 年度	増減
お知らせ・新着情報	15	18	△3
フェイスブック	209	159	50

HP アドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

8 各種福祉事業

①高齢者支援

○団体助成

(1) 老人福祉フェスティバル事業 (市補助金) 220,000 円

(2) 亀山市老人クラブ連合会 (共同募金配分金) 430,000 円

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

措置施設入所者（無年金）、契約施設入所者（無年金） 1 件 3,000 円

②障がい児（者）支援

○障がい児交流事業 <共同募金配分金事業>

三重県高等学校文化連盟ボランティア部門に加盟する高等学校の生徒と、市内在住の障がいのある児童を対象に、相互の親睦と高校生とのふれあい交流を通して共生社会の実現に向け実施しました。

実施日 令和元年 7 月 7 日（土）

行 先 三重県立鈴鹿青少年センター

参加者 12 世帯（32 名）及び亀山高校生徒 33 名、県内高校生 32 名

○団体助成

(1) 亀山市特別支援教育振興会 (共同募金配分金) 130,000 円

(2) みつくすどろっぷす (共同募金配分金) 150,000 円

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

特別児童扶養手当受給者	107 件	321,000 円
障害児福祉手当受給者	4 件	12,000 円
特別障害者手当受給者	22 件	66,000 円
福祉手当受給者	1 件	3,000 円
合計	134 件	402,000 円

③子育て支援

○子育て親子ふれあい交流事業 <共同募金配分金事業>

ボランティアセンター登録団体の子育て支援「かめのこ」と共催で、子育て中の親子を対象に、子どもの貧困やひとり親家庭の生活実態を視野に入れ、日頃希薄になりがちな親子が共に過ごす楽しい時間や経験を共有する機会を作ることを目的に実施しました。

実施日 令和元年 10 月 27 日（日）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 おやこハロウィンフェスティバル

参加者 19 世帯（47 名）

○入学祝金 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭新入学児童生徒への祝金 4 名 20,000 円

○修学旅行補助 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭小中学校修学旅行補助 4 名 35,000 円

○団体助成

- (1) 亀山市子ども会育成者連絡協議会（共同募金配分金） 60,000 円
- (2) 亀山市母子寡婦福祉会（共同募金配分金） 150,000 円

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

準援護家庭	281 件	843,000 円
施設入所児童	0 件	0 円

④低所得者支援

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

生活保護世帯 158 件 496,000 円

○団体助成

- (1) 亀山みんなの食堂（共同募金配分金） 200,000 円
- (2) 学習支援事業コーディネーターの会（共同募金配分金） 50,000 円

⑤多文化共生への支援

○団体助成

(1) みらいじゅく

(共同募金配分金) 60,000 円

9 共同募金会との連絡及び協力

①赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	元年度	達成率	30 年度	増減額	前年比
10 月～12 月	6,020,700	5,318,060	88.3	5,649,954	△331,894	94.1

②歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	元年度	達成率	30 年度	増減額	前年比
10 月～12 月	2,100,000	2,049,908	97.6	2,066,300	△16,392	99.2

③亀山市共同募金委員会運営委員会の開催

第 1 回 令和元年 6 月 10 日 (月) 【出席者】運営委員 8 名、監事 1 名

議 題

- (1) 運営委員及び審査委員の辞任に伴う後任の選任について
- (2) 副会長の選任について
- (3) 平成 30 年度事業報告及び一般会計収支決算について
- (4) 令和元年度 (令和 2 年度充当) 一般募金配分申請について
- (5) 令和元年度歳末たすけあい募金配分申請について

第 2 回 令和 2 年 1 月 20 日 (月) 【出席者】運営委員 8 名

議 題

- (1) 運営委員及び審査委員の辞任に伴う後任の選任について

第 3 回 令和 2 年 3 月 16 日 (月) 【出席者】運営委員 7 名

議 題

- (1) 令和 2 年度事業計画並びに一般会計収支予算について
- (2) 任期満了に伴う運営委員及び監事並びに審査委員の選任について

3 地域福祉事業【生活支援係】

1 総合相談事業 <市補助事業>

①福祉なんでも相談

生活困窮者自立支援事業の相談窓口を活用し、福祉全般の相談を受ける「福祉なんでも相談窓口」を開設して、複合的な福祉課題を抱える相談者に対し、支援調整会議を通じて適切な相談援助を行いました。

②心配ごと相談（元公証人（弁護士）による法律相談）

市の法律相談と連携するとともに、相続、遺言、金銭貸借、離婚等の法律に関することに対して公証人経験者による適切な助言、指導を行う法律相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員・児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	元年度	30年度	増減
開設日数	24	23	1
相談件数	103	106	△3

③社協による法律相談

成年後見制度などの権利擁護に関する相談に対し、弁護士による適切な助言、指導を行うことを目的に毎月30日（土日祝の場合は前の平日に繰り上げ開催）に開催しました。

（単位：日、件）

	元年度	30年度	増減
開催日数	11	12	△1
相談件数	32	33	△1

④心配ごと相談員研修会（民生委員児童委員協議会連合会合同研修会）

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応じていくために、相談員の専門知識の習得や関係機関との連絡、連携が不可欠になってきています。今後の心配ごと相談所活動の充実及び民生委員・児童委員の資質向上を図ることを目的に研修会を実施しました。

実施日 令和2年2月7日（金）

場 所 総合保健福祉センター

講 演 「公証人の仕事」をテーマに講義と質疑応答など

講 師 津地方法務局所属 公証人 安田 錦治郎

参加者 相談員6名、民生委員・児童委員46名

2 日常生活自立支援事業 <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

○支援回数 (単位：件)

	元年度	30 年度	増減
認知症高齢者	133	210	△77
知的障がい者	433	422	11
精神障がい者	349	357	△8
その他	82	63	19
計	997	1,052	△55

○契約者数 (単位：件)

	元年度	30 年度	増減
認知症高齢者	7	11	△4
知的障がい者	16	16	0
精神障がい者	12	13	△1
その他	3	2	1
計	38	42	△4

○生活支援員関係 (単位：名、回)

	元年度	30 年度	増減
生活支援員	12	14	△2
派遣回数	794	881	△87

○生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に研修会を実施いたしました。

実施日 令和 2 年 3 月 5 日 (木)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 「成年後見制度について」をテーマに講義と質疑応答など

講 師 亀山地域包括支援センターきずな 内田 梨佳

参加者 9 名

3 生活困窮者自立支援事業 <市委託事業>

社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱えた方への相談支援をはじめ、きめ細やかな支援の体制づくりを行っていくことを目的に、自立相談支援事業と住居確保給付金（必須事業）及び家計改善支援事業（任意事業）を受託しました。また、「福祉なんでも相談窓口」として生活困窮者に限らず複合的な福祉課題を抱えた方からの相談に応じました。専門員 3 名を配置し、相談者の生活課題を把握・整理し課題の解決に向け、相談者の状況に応じた包括的・伴走的な支援を行いました。

○相談実績

（単位：件）

	元年度	30 年度	増減
新規相談件数	116	124	△8
延べ相談件数	598	548	50
プラン作成件数	18	14	4
家計改善支援利用件数	16	9	7
支援中断	0	0	0
支援終結	9	5	4
住居確保給付金	5	0	5

○年代別構成

（単位：件）

	元年度	30 年度	増減
10～20 代	7	10	△3
30～40 代	41	33	8
50～60 代	40	41	△1
70 代～	19	33	△14
不明	9	7	2

○区分（重複あり）

（単位：名）

	元年度	30 年度	増減
高齢者	31	48	△17
母子家庭	9	5	4
障がい者	13	14	△1
外国人	11	8	3
稼働・失業者等	61	42	19
ケガ・疾病等	25	12	13
ひきこもり	6	3	3
不明	8	2	6

○支援調整会議の開催

相談者に対する支援プランの適切性、進捗状況、終結時の評価等について協議するために開催しました。必要に応じて市役所の関係部局、関係機関にも参加要請を行い連携を図りました。

開催回数：年間 11 回

4 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

①生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務 ＜県社協受託事業＞

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

(単位：件)

	元年度	30 年度	増減
相談件数	42	39	3
貸付件数	7	0	7
長期滞納者の面談	0	0	0

貸付残高件数（令和 2 年 3 月 31 日現在）

(単位：件)

	元年度	30 年度	増減
総合支援資金（生活支援費）	17	18	△1
緊急小口資金	32	30	2
臨時特例つなぎ資金	2	1	1
福祉資金（その他）	7	7	0
合計	58	56	2

(県社協にて償還免除：2 件)

②福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限 30,000 円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしました。

(単位：件、円)

		元年度	30 年度	増減
貸付	件 数	1	2	△1
	金 額	10,000	40,000	△30,000
償還	件 数	8	17	△9
	金 額	23,000	84,000	△61,000

(不納欠損処分：1 件 30,000 円)

貸付残高件数（令和 2 年 3 月 31 日現在）

(単位：件)

	元年度	30 年度	増減
福祉金庫	6	8	△2

5 緊急食糧等提供事業

市内在住の低所得者等が、緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった場合に食糧等の生活に必要な現物等を提供し、自立に向け社会生活が送れるよう支援を行いました。

(単位：件)

	元年度	30 年度	増減
生活困窮者支援緊急食糧提供事業（県社協）	58	40	18
緊急時物品等支援事業（県社協）	4	4	0
亀山市社協災害時等備蓄品	45	30	15

6 あんしん賃貸支援事業 ＜三重県居住支援連絡会助成事業＞

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

各種会議への参加	三重県居住支援連絡会全体会議	1 回
	三重県居住支援連絡会議作業部会	1 回
	居住支援フォーラム	1 回
	住宅相談会	1 回
	住宅相談窓口担当者等講習会	1 回

4 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】

1 包括的支援事業 <鈴鹿亀山地区広域連合委託事業>

①介護予防ケアマネジメント事業

総合事業（ケアマネジメント費）・委託料

総合事業対象者、要支援（1,2）と認定された方の中で、介護保険日常生活支援総合事業として通所介護、訪問介護を位置付けた利用者の心身の状況や生活を評価し、本人の思いや家族等の意見をふまえたケアプランを作成または外部委託し、介護サービス提供事業者、地域の支援者等との連絡調整を行いました。（単位：件、円）

月	ケアマネジメント費				合 計	
	包括支援センター		外部委託			
	件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金 額
4	46	209,206	138	640,122	184	849,328
5	47	213,686	138	627,618	185	841,304
6	46	209,206	129	596,676	175	805,882
7	47	219,938	131	605,636	178	825,574
8	48	218,166	138	643,248	186	861,414
9	46	206,080	139	650,854	185	856,934
10	43	193,113	142	659,604	185	852,717
11	43	202,491	145	669,951	188	872,442
12	41	184,131	134	611,172	175	795,303
1	40	190,383	130	586,956	170	777,339
2	41	179,640	128	607,473	169	787,113
3	40	189,018	136	642,036	176	831,054
合計	528	2,415,058	1,628	7,541,346	2,156	9,956,404
30 年度	503	2,266,107	1,634	7,579,615	2,137	9,845,722
月平均	44	201,255	136	628,445	180	829,700

②総合相談・支援事業

市内 3 か所の在宅介護支援センターとともに、高齢者の生活や認知症などの疾患、介護保険制度、施設入所などに関する相談や悩みのほか、福祉や医療、生きがいなどの相談に応じました。戸別訪問では、外出先や頻度について聞き取りを行い、社会資源の把握に努めました。

（単位：件）

相談機関	元年度	30 年度	増減
亀山地域包括支援センター	1,716	1,322	394
亀山在宅介護支援センター	664	783	△119
亀寿苑在宅介護支援センター	372	480	△108
華旺寿在宅介護支援センター	475	412	63
合 計	3,227	2,997	230

③権利擁護事業

(1) 成年後見制度の活用促進

成年後見制度を活用しやすいよう相談、制度説明、申し立て支援を行いました。

○相談件数 (単位：件)

	元年度	30 年度	増減
新規相談件数	31	21	10
延べ対応件数	135	108	27

(2) 高齢者虐待相談件数

通報、相談を受けた案件について現地状況確認、相談支援を行いました。

○相談件数 (単位：件)

	元年度	30 年度	増減
新規相談件数	13	10	3
延べ対応件数	24	22	2

○虐待相談内容（重複あり） (単位：件)

	元年度	30 年度	増減
身体的虐待	17	13	4
経済的虐待	2	3	△1
精神的虐待	7	5	2
性的虐待	0	0	0
介護放棄	5	4	1

④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

(1) ケアマネジメント支援

地域の介護支援専門員が対応に困る事案について、相談、助言、同行支援等を行いました。

相談件数：10 件（30 年度：6 件）

(2) 居宅介護支援事業所連絡会の開催

居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員を対象に、情報共有や事例検討会の研修会を開催しました。

(単位：名)

開催日	内 容	参加者数
6 月 11 日（火）	事例検討会 「在宅生活を強く希望する利用者の思いは実現可能か」	23
9 月 6 日（金）	講義「難病の理解と支援について①」	22
12 月 6 日（金）	講義「難病の理解と支援について②」	22
2 月 21 日（金）	ケアマネジャー業務の徹底確認 ～介護報酬の解釈に沿って～	23

(3) 地域密着型サービス事業所連絡会の開催

グループホーム、小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービス事業所職員を対象に研修会を開催しました。

(単位：名)

開催日	内 容	参加者数
5 月 16 日 (木)	身体拘束の理解と対応	18
6 月 26 日 (水)	排泄介助・移乗介助の技術について	17
7 月 16 日 (火)	調理の視点から利用者の生活を支える	23
8 月 29 日 (木)	認知症サポーター養成講座	10
9 月 19 日 (木)	死生観～人生をどう生きるか?～	20
10 月 17 日 (木)	高齢者施設における感染症対策	18
11 月 21 日 (木)	事例検討会 「職員は利用者間の関係性をどう構築すべきか?」	10
2 月 20 日 (木)	寝たきりの方の介護方法、車いす移乗介助、 効果的な福祉用具の説明・体験	12

2 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置 <市受託事業>

第 1 層の生活支援コーディネーターを配置し、第 2 層として配置している 3 か所の在宅介護支援センター職員と協働して、地域での自主的な活動を醸成、また地域資源として紹介できるよう、仕組みづくりに関わりました。

○活動状況

(単位：回)

	回数	活動内容
ふれあい・いきいきサロン訪問	40	地域活動の把握
井田川北まちづくり協議会 福祉活動推進委員会出席	7	住民参加型在宅福祉サービス立上げ支援
介護予防教室訪問	14	地域の社会資源の把握

○第 2 層生活支援コーディネーターとの連携

第 2 層生活支援コーディネーターが行う高齢者の見守り訪問において、聞き取り調査を実施するために使用する調査票の作成及びデータの集約を行い、地域課題の抽出に努めました。対象とした 75 歳以上の一人暮らし、80 歳以上の二人暮らし世帯から外出の目的や頻度、移動手段、他者との関わり、困りごとなどについて聞き取りを行いました。今後も高齢者の現状把握を行い、第 2 層とともに地域の実情に合ったコーディネートが行えるよう努めていきます。

調査件数：475 名

3 認知症初期集中支援チーム員の配置 <市受託事業>

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、本年度から専任の認知症初期集中支援員を1名配置し、サポート医、チーム員と関わり、早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築しました。

○相談件数 (単位：件)

	元年度	30年度	増減
相談件数	120	55	65
実相談者数	12	10	2
支援対象者数	12	3	9

- ・認知症関係会議…市担当者、サポート医と共に現状の課題と今後について話し合いました。

開催回数：年間4回

- ・初期集中支援チーム員会議…サポート医と共に個別に関わったケースについての情報共有と支援方法の確認、協議をしました。

開催回数：年間10回

4 地域ケア会議の実施

①地域包括支援センター・在宅介護支援センター・社会福祉協議会 連絡会議

行政及び各機関の業務内容、役割の相互理解をはじめ、それぞれが抱えている個別ケースの支援内容の検討を行うことで、情報共有・課題解決に繋がるよう月1回、連絡会議（地域ケア会議）を開催しました。

開催回数：年間12回

②個別ケア会議

地域住民や関係者からの相談を受け、単独の支援者では難しい困難事例への対応について、有効な職種や支援者を招集し開催しました。

(単位：名)

開催日	参加者数	参加者・職種
4月25日(木)	12	親族、自治会長、民生委員、近隣住民、在宅介護支援センター職員、日常生活自立支援事業専門員
6月11日(火)	7	自治会長、民生委員、駐在所巡査、市生活保護ケースワーカー、日常生活自立支援事業専門員
8月27日(火)	5	自治会長、民生委員、在宅介護支援センター職員
11月8日(金)	8	家族の支援者、入所施設職員、市高齢者支援担当、市障がい者支援担当
3月2日(月)	7	甥、担当ケアマネジャー、市生活保護ワーカー、市高齢者支援担当

5 認知症サポーターの養成 <市受託事業>

①認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成しました。

(単位:名)

開催日	内 容	参加者数
5月14日(火)	マックスバリュみずほ台店店員	75
7月30日(金)	一般市民向け認知症サポーター養成講座	30
8月29日(木)	地域密着型サービス事業所連絡会	10
10月31日(木)	一般市民向け認知症サポーター養成講座	20
11月7日(木)	一般市民向け認知症サポーター養成講座	14
12月9日(月)	ウエルシア 亀山東御幸店	13
12月18日(水)	亀山市立昼生小学校 6年生と教員	19
1月22日(水)	社会福祉法人 安全福祉会 安全の里	13
1月23日(木)30日(木)	亀山高等学校 総合生活科2年	38
1月28日(火)午前	福祉委員	31
1月28日(火)午後	福祉委員	13
2月6日(木)	亀山市立亀山東小学校 6年生と教員	71
2月13日(木)	亀山市立亀山西小学校 6年生と教員	75
2月19日(木)	社会福祉法人 安全福祉会 安全の里	11
延べ参加者数		433

6 指定介護予防支援事業

①予防支援費・委託料

要支援（1,2）と認定された方の中で、介護保険サービスとして通所リハビリテーションや訪問看護、訪問リハビリ、福祉用具貸与などを位置付けた利用者の心身の状況や生活を評価し、本人の思いや家族等の意見をふまえたケアプランを作成または外部委託し、介護サービス提供事業者、地域の支援者等との連絡調整を行いました。

（単位：件、円）

月	予防支援				合 計	
	包括支援センター		外部委託			
	件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金 額
過年度分	0	0	5	25,526	5	25,526
4	60	268,800	218	1,007,900	278	1,276,700
5	60	275,052	226	1,049,992	286	1,325,044
6	61	276,406	231	1,056,762	292	1,333,168
7	61	273,280	233	1,056,344	294	1,329,624
8	60	275,052	241	1,114,066	301	1,389,118
9	60	271,926	239	1,095,728	299	1,367,654
10	59	271,221	243	1,116,321	302	1,387,542
11	63	289,185	246	1,145,424	309	1,434,609
12	62	284,694	248	1,129,398	310	1,414,092
1	63	289,185	251	1,145,997	314	1,435,182
2	60	273,951	267	1,244,622	327	1,518,573
3	60	275,712	254	1,156,344	314	1,432,056
計	729	3,324,464	2,897	13,344,424	3,626	16,668,888
30 年度	649	2,904,294	2,523	11,619,702	3,172	14,523,996
月平均	60.8	277,039	241	1,112,035	302	1,389,074

②その他の収入

介護保険住宅改修理由書作成料：16 件 32,000 円（1 件あたり 2,000 円）

4 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】

1 訪問介護・居宅介護事業

【訪問介護員（ホームヘルパー）数】（令和2年3月31日現在）

・常勤：2名、登録：15名 <前年度末 常勤：2名、登録：15名>

①介護保険制度

（1）訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	元年度	30年度	増減
利用延べ人数	401	356	45
派遣延べ回数	7,216	7,022	194
事業収入	23,150,330	22,956,141	194,189
派遣時間数	4,640	4,554.5	85.5

（2）介護予防・日常生活支援総合事業

要支援及び事業対象者と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	元年度	30年度	増減
利用延べ人数	228	190	38
派遣延べ回数	1,341	1,286	55
事業収入	4,132,934	3,964,258	168,676
派遣時間数	1,213.5	1,211.5	2

②障害者総合支援制度

（1）居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	元年度	30年度	増減
利用延べ人数	295	326	△31
派遣延べ回数	2,550	3,376	△826
事業収入	7,939,274	10,837,563	△2,898,289
派遣時間数	2,020	2,645.5	△625.5

(2) 同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障害の方に外出するための移動支援を行います。【令和元年度利用実績なし】

③地域生活支援事業＜市委託事業＞

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	元年度	30 年度	増減
利用延べ人数	6	12	△6
派遣延べ回数	6	12	△6
事業収入	20,850	30,480	△9,630
派遣時間数	5	6	△1

2 生活介護事業 【指定障害福祉サービス生活介護事業所「つくしの家」】

利用者やその家族が希望する生活を大切に、個別支援計画に基づき介護や行事、創作的活動、交流活動、余暇活動等を提供するとともに軽作業等の生産活動も行いました。

①職員配置

(単位：名)

職 名			つくしの家	なかまの部屋
管理者				1
サービス管理責任者				1
医師				1
看護師				1
生活支援員	常勤	正規	1	0
		嘱託	0	1
		非常勤	4	2
	非常勤（登録）（兼務）		5	1

②利用実績

(1) つくしの家（主たる事業所：定員 25 名）

(単位：名、回、円)

	元年度	30 年度	増減
利用者数	25	23	2
延べ利用人数	4,297	4,296	1
送迎利用回数	6,446	6,581	△135
事業収入	30,363,192	30,353,386	9,806

(2) なかまの部屋 (従たる事業所: 定員 12 名)

(単位: 名、回、円)

	元年度	30 年度	増減
利用者数	10	10	0
延べ利用人数	1,577	1,847	△270
送迎利用回数	1,843	2,288	△445
事業収入	13,628,464	14,956,998	△1,328,534

③創作的活動 (年間行事)

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに、様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

(1) つくしの家 (主たる事業所)

実施日	行事名	場所
4 月 5 日 (金)	季節の行事 (花見と歓迎会)	亀山公園
4 月 25・26 日 (木) (金)	喫茶の日	コ・ビアン
6 月 14 日 (金)	社会見学	志摩スペイン村
7 月 26 日 (金)	じゃがいもパーティー	つくしの家
7 月 31 日 (水)	デリバリーランチ (ララミー・はま寿司)	つくしの家
8 月 23 日 (金)	季節の行事 (夏祭り)	つくしの家
10 月 31 日 (木)	季節の行事 (ハロウィン・デリバリーランチ)	つくしの家
11 月 16 日 (土)	ナイスハートふれあいスポーツの広場	西野公園体育館
12 月 13 日 (金)	三重県障がい者芸術文化祭	亀山市文化会館
12 月 20 日 (金)	利用者健康診断	社会福祉センター
12 月 26 日 (木)	季節の行事 (忘スマス会)	つくしの家
1 月 16 日 (木)	成人のお祝い会・新年会	つくしの家
2 月 27 日 (木)	外食の日	七色食堂
なかまの部屋との合同行事 (年 9 回) 嘱託医師による定期健診 (年 2 回) 看護師によるバイタルチェック (検温、体重測定、血圧測定、健康相談等) (週 1 回) 音楽クラブ、パソコンクラブ、手芸 (月 1 回～3 回) 外食または喫茶の日 (年 2 回) 避難訓練 (年 4 回、内 2 回は全館避難訓練) 選択行事 (カラオケ・ショッピング・ドライブ) 1 人年 1 回 余暇活動 (ウォーキング等の軽運動、カラオケ、物づくり等)		

(2) なかまの部屋 (従たる事業所)

実施日	行事名	場所
4月5日(金)	季節の行事(花見と歓迎会)	亀山公園
6月12日(水)	季節の行事(菖蒲園散策)	亀山菖蒲園
6月14日(金)	社会見学	志摩スペイン村
7月26日(金)	じゃがいもパーティー	つくしの家
8月23日(金)	季節の行事(夏祭り)	つくしの家
10月11日(金)	喫茶の日	コ・ビアン
10月31日(木)	季節の行事(ハロウィン・デリバラーランチ)	つくしの家
11月16日(土)	ナイスハートふれあいのスポーツ広場	西野公園体育館
12月20日(金)	利用者健康診断	社会福祉センター
12月26日(木)	季節の行事(忘スマス会)	つくしの家
1月4日(土)	初詣	関神社
1月16日(木)	成人のお祝い会・新年会	つくしの家
2月25日(火)	外食の日	七色食堂
つくしの家との合同行事(年9回) 嘱託医師による定期健診(年2回) 看護師によるバイタルチェック (検温、体重測定、血圧測定、健康相談等)(週1回) プチエステの日(月1回) 調理の日&誕生会(年7回) 避難訓練(年3回) 選択行事(カラオケ・ショッピング・ドライブ)1人年1回 余暇活動(足湯、ウォーキング、園芸、体操、ゲーム等)		

④地域交流

地域の小、中学生やボランティアなどと交流をし、障がい者への理解を深めてもらえるよう広報啓発に努めました。

(1) つくしの家 (主たる事業所)

実施日	行事名	場所
6月3日(月)	中学生職場体験受入(5日間)	つくしの家
6月28日(金)	白川小5、6年生体験学習	つくしの家
8月20日(火)	中学生福祉体験教室(3日間)	つくしの家
9月13日(金)	三重大生との交流会	三重大学
9月26日(木)	白川小全校生徒との交流会	つくしの家
10月8日(火)	西部地区民生委員との交流会	社会福祉センター
11月8日(金)	白川小ふれあい集会打合せ	つくしの家
11月14日(木)	亀老連芸能フェスティバル参加	亀山市文化会館
11月22日(金)	白川小ふれあい交流会	白川小学校

2月18日（火）	三重大生との交流会	つくしの家
三重大学教育学部の学生ボランティアサークル「つくしんぼサークル」との交流（月1回）		
※3月10日感謝の集いは新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止		

（2）なかまの部屋（従たる事業所）

実施日	行事名	場所
5月17日（金）	関地区民生委員との交流会（カラオケ大会）	鈴鹿市
5月24日（金）	保護者との交流会（お茶会）	なかまの部屋
7月5日（金）	関地区民生委員との交流会（七夕茶会）	なかまの部屋
8月29日（木）	中学生福祉体験教室（4日間）	なかまの部屋
9月13日（金）	三重大生との交流会	三重大学
11月6日（水）	関小学校5年生との交流会（体験学習）	なかまの部屋
12月17日（火）	関地区民生委員との交流会（クリスマス会）	関文化交流センター
1月25日（土）	関小学校5年生との交流会	なかまの部屋
2月19日（水）	三重大生との交流会	つくしの家
3月26日（木）	放課後デイエイドと合同避難訓練	なかまの部屋
三重大教育学部の学生ボランティアサークル「つくしんぼサークル」との交流会（月1回）		
※3月3日民生委員との交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止		

⑤生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあった軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。また、月1回つくしの家・なかまの部屋で合同作業を行い、利用者及び職員が交流することで新たな気づきがありました。

（1）つくしの家（主たる事業所）

委託先	作業内容
（株）アシベ工芸	ろうそく箱詰め
（有）松川紙工	100円商品の組み立て・梱包
亀山農研	野菜洗い・梱包
長田隆尚後援会	チラシ折り・封入作業

（2）なかまの部屋（従たる事業所）

委託先	作業内容
（株）アシベ工芸	ろうそく箱詰め
（有）松川紙工	100円商品の組み立て・梱包

⑥利用体験実習の受入

卒業後の進路を考慮し体験できるよう、利用体験実習の受入を行いました。

学校名	学年	性別	期間
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校 2 年	男	令和元年 6 月 17 日～28 日(2 週間)
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校 2 年	男	令和 2 年 1 月 20 日～31 日(2 週間)
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校 2 年	女	令和 2 年 1 月 20 日～31 日(2 週間)
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校 1 年	男	令和 2 年 1 月 27 日～31 日(1 週間)

⑦運営委員会の開催

本事業所の円滑な運営を資するため、福祉サービス内容や事業計画及び運営について協議をしました。

実施日	内 容
2 月 6 日 (木)	令和元年度事業報告及び現状について 令和 2 年度事業計画 (素案) について

3 日中一時支援事業 <市受託事業>

本年度より障がい者等の日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び、障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息ができるよう実施しました。主に生活介護の開所時間外の利用や、特別支援学校生徒の利用がありました。

(単位：名、円)

	元年度
契約者数	19 名 (うち学生 3 名)
延べ利用人数	286
事業収入	492,530

4 特定・障害児相談支援事業

障害福祉サービス等を申請した障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画の作成及び支給決定後の計画の見直しを行いました。

①特定相談支援

(単位：名、円)

	元年度	30 年度	増減
契約者数	69	70	△1
事業収入	2,616,570	2,430,938	185,632

②障害児相談支援

(単位：名、円)

	元年度	30 年度	増減
契約者数	22	20	2
事業収入	787,163	643,300	143,863

5 社会福祉センターの運営 〈市補助事業〉

【年間利用状況 〈3 階集会室〉】

(単位：件、名)

	元年度	30 年度	増減
利用件数	368	369	△1
利用人数	6,919	10,297	△3,378

【工事及び修繕の執行状況】

工事名	契約年月日	完成年月日
昇降機改修工事	令和元年 5 月 15 日	令和元年 7 月 21 日
消防用設備の点検による 消防用設備補修	令和元年 7 月 17 日	令和元年 9 月 2 日
その他 3 か所修繕		

5 その他

①関係機関への協力、参加

(単位：回)

委 員 会 名	実 施 主 体	回数/年	出席者
亀山市地域福祉推進委員会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市要保護児童等・DV 対策地域協議会	健康福祉部 子ども未来課	1	会長
亀山市民生委員推薦委員会	健康福祉部 地域福祉課	2	会長
亀山市国民保護協議会	防災安全課	1	会長
亀山市防災会議	防災安全課	1	会長
亀山市水防協議会	防災安全課	1	会長
三重とこわか国体・三重とこわか大会 亀山市実行委員会・専門委員会	三重とこわか国体・三重とこわ か大会亀山市実行委員会	2	会長 局長
亀山市共同募金運営委員会	亀山市共同募金委員会	3	会長 局長
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長 中川
かめやま江戸の道シティマラソン実行委員会	かめやま江戸の道シティマラソン実行委員会	2	会長 局長
亀山市高齢者・障がい者虐待防止対策代表者会議	健康福祉部 長寿健康課	1	局長
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	19	出口
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	3	局長
市民活動応援制度審査検証委員会	生活文化部 まちづくり協働課	3	鍬田

②亀山市議会教育民生委員会との意見交換会

当会の事業概要や意見交換の場として、市議会教育民生委員会と意見交換会を行いました。

実施日 令和元年 5 月 13 日 (月)

場 所 市役所 第 1 委員会室

内 容 社会福祉協議会の事業概要及び意見交換

出席者 会長、常務理事、事務局長、各担当係長

社会福祉法人亀山市社会福祉協議会 組織・事務機構図

